

# 久留米市立中学校新標準服に関する意識調査結果のお知らせ

保護者の皆様へ

令和3年6月4日

久留米市立中学校新標準服検討委員会

令和3年2月に現中学校2学年及び3学年の全生徒及び保護者に実施した「中学校新標準服に関する意識調査」の結果をお知らせします。

この意識調査は、久留米市立中学校の標準服の機能性の向上及びさまざまな人権への配慮等を考え、全ての生徒が快適に学校生活を送れるようにするため、生徒・保護者が標準服に求める意見（課題や改善点）を明らかにするために実施しました。

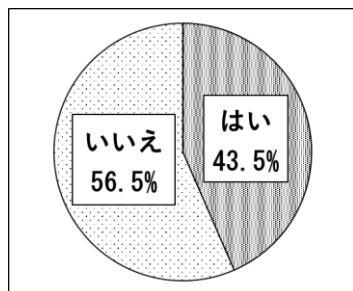
ご協力いただきました皆様ありがとうございます。

## 生徒意識調査の結果（4,624名）

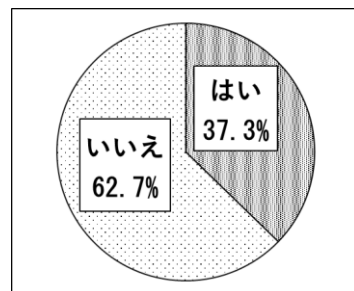
はい：「はい」「どちらかといえばはい」の合計の割合  
 いいえ：「どちらかといえばいいえ」「いいえ」の合計の割合

### （1）動きやすさについて

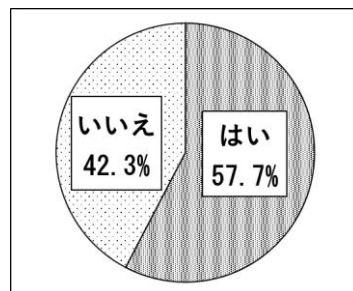
①現在の制服は、着脱がしやすく、着脱がスムーズである。



②現在の制服は、身動きがしやすい。

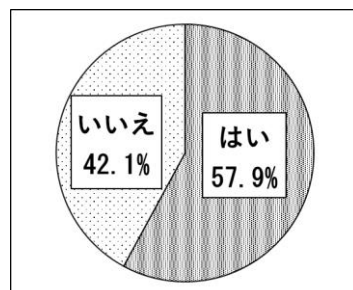


③現在の制服は、着ていて着苦しいと感じることはない。

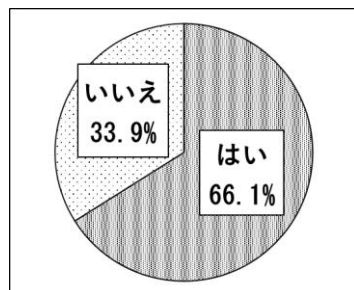


### （2）暑さや寒さへの対応について

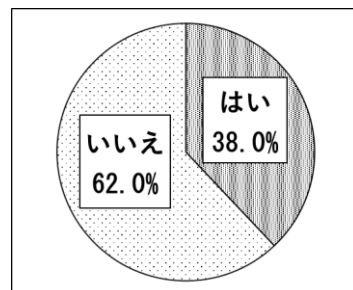
①現在の冬服は、上着の下に重ね着がしにくい。



②現在の冬服は、気温にあわせて調整がしにくい。

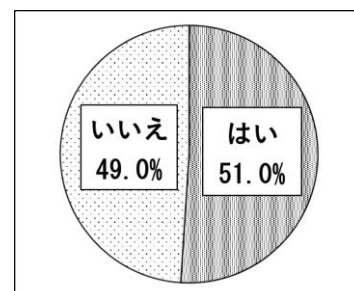


③現在の冬服は、寒い時期でも暖かく過ごせる。

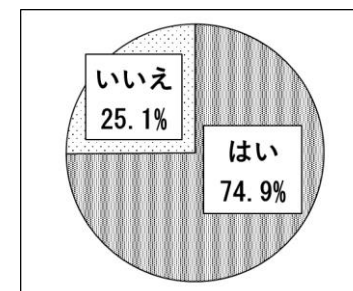


### （3）制服のデザイン変更、制服の選択、素材等について

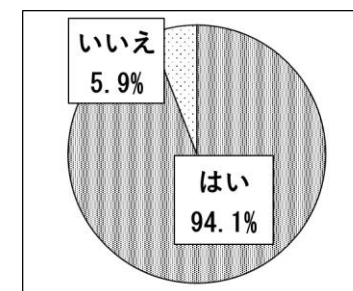
①現在の制服は新しいデザインに変えた方がよい。



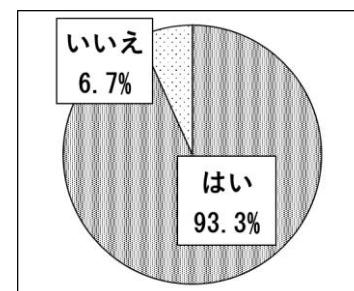
②制服のズボンやスカートは自由に選べる方がよい。



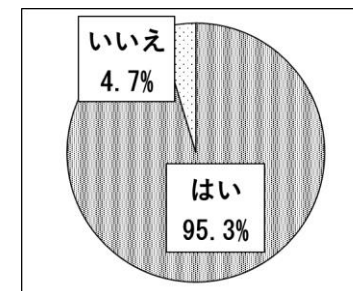
③制服は汚れが目立たない色の方がよい。



④夏服のシャツは透けない素材がよい。



⑤シャツやブラウスには、吸汗・速乾などの素材を使った方がよい。



### （4）新しい標準服に対する希望・アイデアについて（生徒記述より抜粋）

- ・ボトムは、パンツ、ワイドパンツ、スカート、キュロット等の種類があり、その中から選べるものがよい。
- ・防犯対策、自転車でも雨の日でも通学しやすいパンツスタイルがよい。
- ・着替えやすく、重ね着もしやすいように、上下は別々にしてほしい。
- ・特に、女子のジャンパースカートは、夏は暑く汗もかきやすいため変えてほしい。
- ・詰襟は首回りが痛く窮屈なため、しめつけないデザインがよい。
- ・ボトムの色は、黒や紺などの汚れや汗じみが目立たない色がよい。現行の水色は採用しないでほしい。
- ・夏も冬も同じ色のボトムにしてほしい。
- ・肌が弱い人でも、かぶれにくい素材がよい。
- ・汗で透けたり、肌に張り付いたりしない素材がよい。

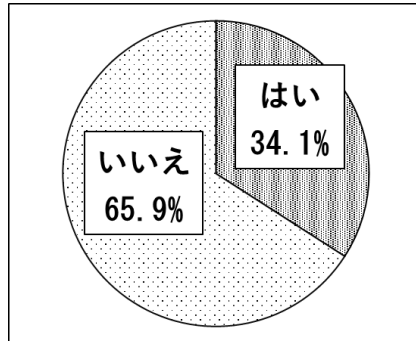
<裏面へ>

## 保護者意識調査の結果（3,893名）

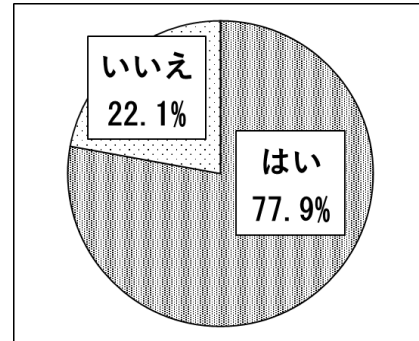
はい：「はい」「どちらかといえばはい」の合計の割合  
いいえ：「どちらかといえばいいえ」「いいえ」の合計の割合

### （1）制服のデザイン変更、制服の選択、素材等について

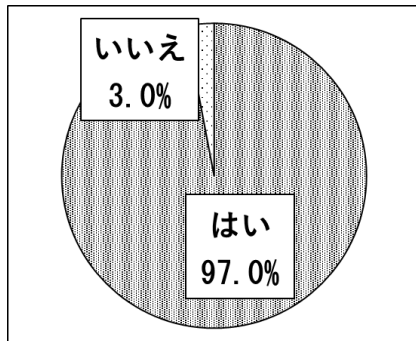
①現在の制服は、新しいデザインに変えた方がよい。



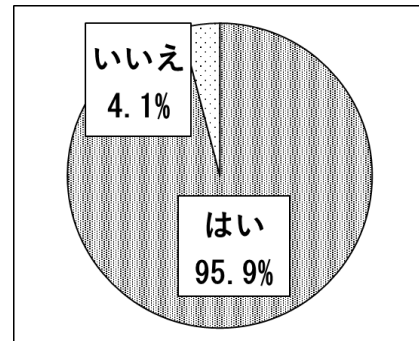
②制服のズボンやスカートは自由に選択できる方がよい。



③制服は汚れが目立たない色の方がよい。

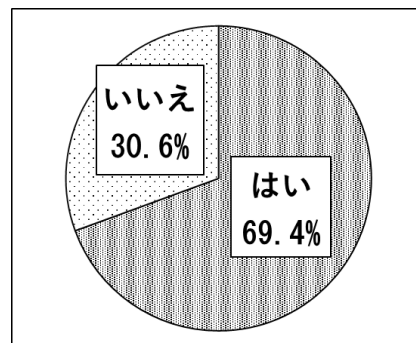


④制服は、暑さや寒さに合わせて、簡単に脱いだり着たりできる方がよい。

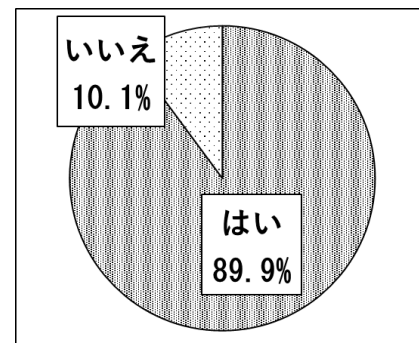


### （2）メンテナンスのしやすさについて

①現在の制服は、洗濯がしやすい。

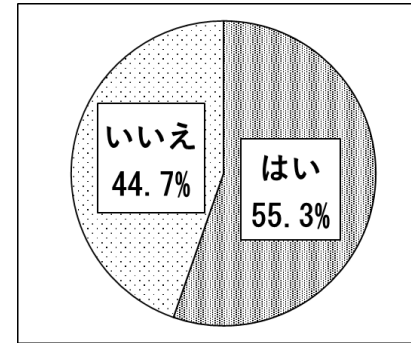


②現在の制服は、生地が丈夫で長持ちする。

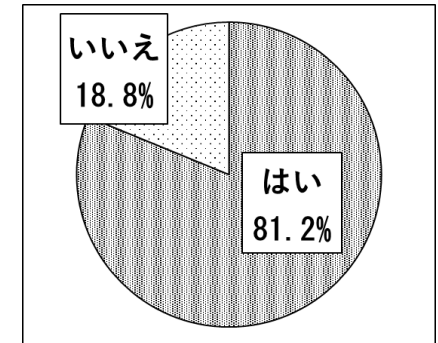


### （3）価格やお下がりについて

①制服の価格は、現在のものくらいが適切である。



②現在の制服は、形や色に差がなく、お下がりが使えるのでよい。



### （4）新しい標準服に対する希望・アイデアについて（保護者記述より抜粋）

- ・兄弟姉妹でも着ることができるように男女でデザインを統一してほしい。
- ・ボトムは、選択できるものがよい。（パンツ、スカート、キュロット、半ズボン等）
- ・家庭でも洗濯が頻繁にでき、アイロンがけが不要で、型崩れしないもの。
- ・お下がりをいかすことができるように、変更してほしい。
- ・値段が上がるならば、今のままでよい。

### 意識調査から明らかになったこと

- 生徒は、暑さ・寒さの調整のしづらさや動きづらさなど、現在の制服の機能面に不便さを感じている。
- 保護者は、現在の制服について、メンテナンスや耐久性、価格、お下がりのしやすさによさを感じており、制服の変更は慎重な考えが多かった。しかし、制服のボトム（ズボンやスカート）の自由選択や暑さ寒さの対応がしやすいことについては多くの保護者や生徒が肯定的であった。そのことから、標準服のデザインの変更には価格やお下がり等に十分配慮する必要がある。

### 新たな標準服に向けて

意識調査の結果から、次のような標準服を検討していきたいと考えます。

- 一、着脱や重ね着がしやすいなど、暑さや寒さへの対応ができるもの。
- 二、動きやすさに配慮されたもの。
- 三、ズボンやスカート等を自由に選択できるように配慮されたもの。
- 四、現在の標準服と同程度の価格帯であること。
- 五、汚れが目立たない色で、丸洗いができるなど、メンテナンスの負担がかからないもの。
- 六、素材や染料等、身体への害や事故・犯罪など、生徒の安全に配慮されたもの。
- 七、新たな標準服導入後も、現在の標準服のお下がりも可能な期間を設けること。